

とうきょう すくわく プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

港区立三光幼稚園 実践紹介！

とうきょう すくわくプログラムってなに？

幼稚園や保育所において、子供たちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子供たちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。

すくすく

すべての乳幼児の
伸びる・育つ

×

好奇心・探究心

を応援する幼保共通のプログラム

東京都

「非認知能力」の育成等、乳幼児の成長・発達をサポート

なんで？

どうして？



好奇心を持つ
きっかけを増やす

できるかな？

こうしてみよう！



考えを広げる

できた！

今度はあれを
やってみようかな



考えを深める

すくわくプログラムはどんなことをするの？

安全安心な環境のもと、子供たちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、好奇心を持つきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

非認知能力とは

自己に

かかわる心の力

- 自尊心
- 自己肯定感
- 意欲
- 粘り強さ

社会性に

かかわる心の力

- 心の理解能力
- 共感
- 思いやり
- 協同性

テーマに関する子供たちの考えやイメージを引き出すための問い（例：〇〇ってなあに？）を考え、素材や道具を準備し活動を行います。

テーマ例：光・色・自然・音・泥遊び・絵本など

豊かな心の育ちを応援

乳幼児期は、「非認知能力」を培う大切な時

東京大学大学院 教育学研究科 教授 同附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) 長 遠藤 利彦

子供が伸びやかに成長していくためには、無限大の好奇心に従って、心躍らせながら遊び学ぶことが重要です。また、同年代の子などと互いの個性を認め合いながら、1つのことに協力して取り組むことも大切です。この認識のもと、東京都とCEDEPは、「とうきょうすくわくプログラム」の支援に連携して取り組んでいます。



とうきょうすくわくプログラムは
こちらからご覧いただけます。

とうきょうすくわくプログラムは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) との協定の下、東京都の「とうきょうすくわくプログラム推進事業」として策定したものです。



港区立三光幼稚園

電話

03-3444-4233

所在地

東京都港区白金 3-13-8



港区立三光幼稚園で

とうきょうすくわくプログラムに取り組みました

4歳児クラス



テーマ 自然との 関わり

子供たちが園庭の自然で遊ぶことが好きなことから、自然との関わりをより深めていくため、テーマを設定しました。

活動① 園庭で自然を探そう

「自然ってなんだろう？」という問いをもとに、園庭にある自然を探しました。



自然ってなあに？

葉っぱ。
あとブドウとか。



木とか葉っぱとか、
どうぶつも。



虫も自然なんだよ



葉脈を指して「葉っぱのけっかん！」
葉っぱを持って「見て！穴あいてるよ！」「虫が食べてた」など、
様々な自然と出会っていました。

活動② 自然の色を作り、描こう

園庭にある自然に近い色を10種類以上用意して、
見つけた自然を絵で表現する活動を行いました。
3種類の大きさの画用紙を自由に選び、園庭が見えるテラスで
活動しました。

子供たちは、混色や色づくり、絵を描くなど、やりたいことを
十分に楽しめていました。



活動③ 集めた自然物を使って室内で遊ぼう

OHPやライトテーブルを使いながら、
室内で自然物で遊びました。

子供たちが描いた自然の絵をOHPで壁に
投影し、自然物と組み合わせながら物語を
作ったり、全身を使ったゲームを
生み出したりしていました。

OHPを使い、一つひとつ異なる色や形を
持つ葉っぱや実などがどのように映るか
試しました。
また、ライトテーブルの上で自然物と
小さな人形を組み合わせ「迷路」を
作っていました。

OHP



ライトテーブル

活動④ 集めた自然物を日常の遊びに取り入れよう

活動③よりも、日常の遊びに近い形で、自然を使って遊ぶ活動を行いました。

自然物をテラスに置いたことで、
ごっこ遊びの中で、
自然を野菜に見立てるなど、
自然物を取り入れて
遊ぶ様子が見られました。



子供たちは思い思いの場所で自然を取り入れた遊びを展開していました。